

## ～その255～ 『観光農園 その2』

三愛観光農場の観光農園は好調だったようです。同農場は冬でも観光客が来てもらえるように、ドーム型の大きな温室を建てました。

鉄骨造りの温室の高さは5mほどで広さ200㎡、内部はボイラー暖房と太陽光で温められる仕組みになっており、花などの鉢物が並べられていました。

オープンして3年目の昭和42（1967）年5月21日、この年の観光農場開きが盛に行われ、当時の海野町長、吉田観光協会会長さんはじめ20人ほどが集まって「ブローラーパーティー」を楽しんだそうです。

昭和40年代はじめ、余市町や近隣の町村への観光客の入込数は年々増加しており、今後も観光客が千人単位で増えると同園は予想しています。

三愛観光農場の好調に刺激されたのか、この年の秋、観光客向けに果物狩りの「あっせん会社」を立ち上げようという動きが現れました。

同年9月22日の新聞記事には「余市、仁木地方には広い果樹園がありながら、現在、観光客を受け入れる体制が整っていない。そこで果樹農家とタイアップし、観光客にリンゴ、ブドウ狩りのあっせんをしようという会社の設立準備が、一部有志の間で進められている」とあります。この構想は9軒の果樹農家、4軒の観光業者が株主になる予定で、ブドウ狩り（1人200円）、リンゴ狩り（同100円）の入園料を想定していました。

このお話は実現し、株式会社『観光農園』が設立されました。

同社の関係者が感じていたのは「余市、仁木が積丹、岩内方面の観光の入り口となっていながら、いつも観光客が素通りする」ことで、設立前から試験的に果物狩りを企画し、オープン直後のモイレ城閣での食事や入浴もセットにしました。

あっせん先の仁木町のブドウ園を訪れた第一陣の来園者はおおよそ150人、続いて200人ほどの団体客

が果物狩りを楽しんだので、好調な出だしだったといえます。

翌43年には大浜中地区に新たな観光農園、フルーツガーデンが誕生しました。国道5号線の東大浜中のバス停から内陸に700mほど入ったところに鉄筋造りの2階建ての建物ができました。

1階は日本間2部屋と4畳半1部屋、2階はほぼ全面ガラス張りの喫茶ルームで、園内には幅4mの遊歩道が巡っていました。ジンギスカンなどの焼き肉が好評で、平日に30から50人、週末には100人ほどの人が来園したそうです。

この年ふたつ目の観光農園、永谷園クロップガーデンが豊丘町にオープンしました。豊丘小学校のすぐそばで、大型駐車場やトイレが完備され、こちらもジンギスカンを食べることができました。

昭和43年の観光農園の好調さが記事に見えます。

「余市名産のブドウはことし豊作。黒色の『キャンベルス』と青色の『ナイヤガラ』がいま収穫期。ブドウ狩りの団体は今月にはいつてからぼつぼつ来始めていたが、いまがちょうどピーク。この日訪れた団体の“王様”は道庁の職員、家族約二千三百人の一行。今シーズン最大の規模で、大型バス四十台を連ねて山田町のブドウ園入りし、一帯を人、人、人で埋め尽くした」



▲写真 フルーツガーデン  
(観光パンフレットより)

余市町の空間放射線量率 9月1日～9月30日の本町の空間放射線量率は「平常レベル」でした。  
(最高値：4.3nGy/h、最低値：3.6nGy/h、平均値：3.8nGy/h) ※平常時は1.0～6.0 nGy/h程度

広告

営業科目 一般住宅、ビル、倉庫、物置の解体工事・住宅リフォーム・造園工事・敷地内舗装・ロードヒーティング・融雪機・除排雪・雪下ろし・車庫・物置・納屋設置・採取土販売

お見積り無料 総勢40人のスタッフがお待ちしております。お気軽にどうぞ!!

ふる がき けん せつ  
(株)古垣建設

余市町入舟町126番地  
TEL0135-22-5578 FAX0135-22-5050  
http://furugaki.co.jp E-mail: k@furugaki.co.jp  
フリーアクセス **0800-800-7778**



当社キャラクター  
たいようくん

弊社で開発した、世界初特許技術により解体で発生するコンクリート塊をその場で砂利とし、利用することによりどこよりも安く、親切、丁寧に対応させていただきます。見積り無料です。お気軽にお問い合わせください。

